



院長 コラム



院長

錫村

明生

あけまして
おめでとうございます

本年は私が名古屋大学を定年退職し、当院に赴任して10年目を迎えます。中村区は65歳以上が25%を占める超高齢社会です。この地域での神経内科の臨床では**認知症対策**は避けて通れないと考え、検査機器も含めて認知症の診断と治療を十分に行える施設を目指しました。

患者さんや家族が集い、気楽に相談しあえるような**認知症カフェ(ほっとカフェじょうさい)**を定期的で開催し、音楽療法も取り入れました。さらに認知症の予防や進行防止に少しでも役立つように笑いヨガや運動療法も行っています。



認知症疾患医療センター 開設!!

名古屋市のもの忘れ検診

2020年から名古屋市のもの忘れ検診(65歳以上の方は無料)が始まりましたが、これは我々が当時の河村市長に提案してきたことです。当初は受診率が低く1カ月に数人が検診に訪れるくらいでした。2023年10月からは、**もの忘れ検診で認知症の疑いのある人の精密検査を全額補助**するようになっていきます。最近では、もの忘れ検診の案内を対象の方の自宅に郵送するようになり受診率が上がりました。当院では毎日数人の検診があり、そのうち8割くらいが精密検査にすすみ、**早期に治療を開始**できるようになりました。

認知症疾患医療センター

当院の認知症に対する取り組みが評価され、昨年12月には**名古屋市の認知症疾患医療センター**として指定されました。当院の外来患者さんだけでなく、近隣の開業医の先生からも認知症疑いの患者さんを紹介いただき、当院で鑑別診断し治療法を確定後、もとの先生のところで診療を継続することができる**中村区で唯一の認知症のセンター**となります。これまでと同様に認知症やその介護について気軽に相談できる場所として、地域に根ざした認知症疾患医療センターとして活動してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

? 認知症疾患医療センターとは

認知症疾患医療センターとは、認知症に関する医療相談や認知症の詳しい診断、症状が悪化した場合の対応などを行う認知症の専門医療機関です。当院は名古屋市の指定を受け、2024年12月1日より「名古屋市認知症疾患医療センター」を開設しました。中村区では当院が唯一のセンターとなります。

こんなときご相談ください

- 人やものの名前が思い出せない
- 怒りっぽくなった
- 食事や趣味などへの意欲がなくなる
- 慣れた道で迷う
- 同じことを何度も聞く
- 約束や予定を忘れてしまう
- 普段やっていたことができなくなった

外来診療のご案内

内科

発熱、風邪症状、下痢、吐き気
生活習慣病、健診等で内科系の異常
を指摘された

神経内科

めまい、しびれ、ろれつが回らない
力が入らない、頭痛

腎臓内科

むくみ、疲れやすい、尿糖
タンパク尿、血尿、腎機能の異常

循環器内科

高血圧、胸の痛み・動悸、息切れ
不整脈・背中への痛み、脚のむくみ

整形外科

首・肩・腰・関節の痛み、打撲
ねんざ、手足のしびれ、骨粗しょう症

眼科

見えにくさ、充血、かゆみ
ドライアイ、涙目、目やに
視力の異常（メガネ・コンタクト処方箋）

物忘れ外来

人や物の名前が思い出せない
約束・予定を忘れてしまう
怒りっぽくなった、被害妄想

睡眠時無呼吸外来

昼間に眠い、大きないびき
夜中に何度も起きる
寝ているときに呼吸が止まる

どの診療科を受診したらよいか迷われる場合は
予約センターの担当者に症状をお伝えください



◎紹介状が無くても受診できます

紹介状なしで受診しても、通常の医療費にプラスして選定療養費をご請求しておりません

◎受診当日に検査結果をお知らせします

血液検査は院内にて分析しており、当日実施した検査の結果を可能な限りその日のうちに説明します
※一部の専門的な検査を除く

◎外来診察時に入院が必要と判断された場合、当院での入院も可能です

入院病床が120床あり、内科系全般・整形外科系疾患、眼科（白内障手術）の入院加療が可能です
※病状により専門の医療機関をご紹介する場合があります